

令和4年12月13日

介護支援専門員 各位
ソーシャルワーカー 各位
退院支援、訪問看護師 各位
リハビリテーション職各位

北見地域介護支援専門員連絡協議会代表
北見市保健福祉部 地域包括ケア推進担当主幹
北見市医療・介護連携支援センター長

「クライアントの感情を理解し適切に反応する 対人援助職のための面接力向上研修会」
開催に関わる参加者の募集について（ご案内）

平素より当協会、当市並びに当センターの活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。北見市では令和4年度に(株)日本総合研究所の協力を経て「適切なケアマネジメント手法実践研修」を開催いたしました。当該実践研修を通じ、ケアマネジャーのみならず対人援助職にとって、利用者や患者さんの望む生活・暮らしの意向、本人の意思を捉えるためのエピソード、日常生活における意向の尊重や将来の生活の見通しを立てるための支援などを把握することが重要であることが分かってきました。

そこで各団体の協力を得て、標題のとおり面接力向上のための研修会を企画いたしました。年度末でお忙しい時期ではありますが、是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

日 時：令和5年3月11日（土）13：00～16：30
場 所：ホテル黒部（北海道北見市北7条西1丁目 TEL0157-23-2251）
会場とオンラインのハイブリッドで開催します
テーマ：クライアントの感情を理解し適切に反応する
対人援助職のための面接力向上研修会
内 容：別紙実施要項をご参照ください

以上

お問い合わせ 北見市医療・介護連携支援センター 関 北海道北見市中央三輪2丁目 302-1 北星記念病院内 電話 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp

対人援助職のための面接力向上研修会 実施要項

1. 目的

「適切なケアマネジメント手法(日本総合研究所)」における基本ケア(44項目)には、利用者の望む生活・暮らしの意向の把握、本人の意思を捉えるためのエピソード等の把握、日常生活における意向の尊重や将来の生活の見通しを立てるための支援が盛り込まれています。しかしケアマネジメントに関する研修会で参加者数名から、本人や家族の望む暮らしの意向や、収入状況、アドバンスケアプラン等聴き取りする際に、「プライベートな話を聞くのは気が引け、どのように聞いたら良いのかが分からない」といった感想を聞くことがあります。

また医療機関のソーシャルワーカー、看護師やリハビリ専門職らも支援計画、看護計画やリハビリテーション実施計画書等を立案する際、患者の将来の意向を充分把握できずに、病状の程度から転帰先を決定するという支援に終始している可能性があります。

そこでケアマネジャーのみならず、対人援助の職種を対象に、患者や利用者の望む生活・暮らしの意向などを把握するための「面接力」を高める研修会を実施することとしました。

2. 方法

利用者や患者(クライアント)の意向は、本人自身も普段考えることが少ないテーマです。これを「面接」で明らかにするためには、援助職側の技能に左右されます。また面接とは単に「情報を収集するための質問」に留まらず、援助職側の意図的な関わりとクライアントとの相互作用が大きく作用します。そこで「ケースワークの原則:援助関係を形成する技法」の著者であるバイステックが「最も重要であるが、最も難しい技術」と言った『クライアントの感情を理解し、適切に反応する』をテーマに講義とグループワークでクライアントの感情を理解するための感受性(センス)を磨きます。

3. 講師

立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 松山 真氏

(陸前高田グローバルキャンパス 機構長)(ソーシャルワーク論、医療ソーシャルワーク実践論)

4. 日時 令和5年3月11日(土)13:00~16:30 (210分) オンラインとのハイブリッド開催

5. 場所・定員 ホテル黒部(北海道北見市北7条西1丁目) 会場 50名・オンライン 50名(予定)

6. 対象 ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、看護師、リハビリ専門職などの対人援助職
(北見地域の方を優先しますが、他地域の方もご参加いただけます)

7. 費用 参加費無料(オンライン参加の方の通信料等は各自の負担となります)

8. 主催 北見地域介護支援専門員連絡協議会、北見市、北見市医療・介護連携支援センター

9. 申し込み

下記のアドレスまたは右記のQRコードにてオンラインで申し込みです。

<https://forms.gle/Kyrj9cifqTj1JyAx9>



10. 問い合わせ先

担当：関 北見市医療・介護連携支援センター

北見市中央三輪2丁目 302-1 北星記念病院内

電話 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp

クライアントの感情を 理解し適切に反応する

面接での行き詰まりを打開し、
あなたも一流になれる

対人援助職のための面接力向上研修会

「傾聴とは、ええ、はい、と聴くことだと思っている」「もっと面接がうまくなりたい」「何度説明しても同じ事を訊かれる」「どうも話がしっくりしない」「冷たい対応だと言われる」「苦情や怒っている人にどう対応したらいいかわからない」なんて思っている方。面接はソーシャルワーカーの基本技術ですが、専門的にトレーニングを受ける機会はほとんどありません。

本研修は、あのバイステックが「最も重要であるが、最も難しい技術」と言った『クライアントの感情を理解し、適切に反応する』ことが出来るようになることを目標に企画しました。クライアントの感情を理解するための感受性（センス）を磨き、傾聴の本当の意味を知って面接上手になりましょう。



講師：松山 真氏

立教大学 コミュニティ福祉学部
福祉学科 教授
陸前高田グローバルキャンパス機構長兼務
専門：ソーシャルワーク論、医療ソーシャル
ワーク実践論

面接は本から学べないとして、面接技術のDVD教材をこれまで8本制作しました。実際にどう面接を進めたらいいのかわ、事例で学ぶ事が出来るように心掛けています。今回は長時間の研修ですが、事例で考えながら学ぶことで、身に付くことを目指しています。

面接力向上のための研修会参加者を募集します

研修のねらい

ケアマネジメントに関する研修会で参加者数名から、本人や家族の望む暮らしの意向や、収入状況、アドバンスケアプラン等聴き取りする際に、「プライベートな話を聞くのは気が引け、どのように聞いたら良いのかわからない」と聞かことがあります。

また、医療機関のソーシャルワーカー、看護師やリハビリ専門職らも支援計画、看護計画やリハビリテーション実施計画書等を立案する際、患者の将来の意向を充分把握できずに、病状の程度から転帰先を決定するという支援に終始している可能性があります。

そこでケアマネジャーのみならず、対人援助の職種を対象に、利用者や患者さんの望む生活・暮らしの意向、本人の意思を捉えるためのエピソード、日常生活における意向の尊重や将来の生活の見通しを立てることの支援など把握するための「面接力」を身に付ける研修会を実施することとしました。

実施概要

日時	令和5年3月11日(土) 13:00~16:30(予定)
場所	ホテル黒部(北海道北見市北7条西1丁目) オンラインとのハイブリッド開催
定員	会場 50名・オンライン 50名(予定) 先着順となります
対象	ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、看護師、リハビリ職などの対人援助職 (北見地域の方を優先しますが、他の地域の方もご参加頂けます)
費用	参加費無料 (オンライン参加の通信料等は各自の負担)
主催	北見地域介護支援専門員連絡協議会、北見市 北見市医療・介護連携支援センター

タイムテーブル (講義とグループワークがあります)

時間	内容
13:00	開会あいさつ オリエンテーション
13:05	クライアントの感情を理解し、適切に反応するセンスを磨く
14:30	休憩
14:40	クライアントの感情を理解し、適切に反応するセンスをさらに磨く
16:30	終了

- 申し込み：下記の URL か右記 QR コードで申し込み
申し込み方法はオンラインのみとなります
<https://forms.gle/Kyrj9cifqTj1JyAx9>
- 問い合わせ先
担当：関 北見市医療・介護連携支援センター
北海道北見市中央三輪2丁目 302-1 北星記念病院内
電話 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp

